

茶病虫害防除情報

【第 15 号】

令和 2 年 9 月 1 日

鹿児島県経済連・肥料農薬課

来年産茶に影響し、発生源となる

第 3 世代「クワシロカイガラムシ」の防除対策

今年の夏も梅雨明け後記録的な猛暑炎天が続きましたが、8 月下旬になって台風 8 号の影響で一時的に曇雨天の天候もみられるようになり、気温も幾分低下してきました。また、今週は台風 9 号の北上による影響も懸念されます。このような中、来年産茶に向け秋の茶園管理に努められていることと思います。今回は充実した茶園を傷めるクワシロカイガラムシ第 3 世代発生の防除適期など防除対策をお知らせします。

☆ 今年の発生状況 … 発生量 並 発生時期 並

最近のクワシロカイガラムシ発生は防除や天候、天敵などの影響のためか著しく減少し、少発生で経過し、枝条の枯死や生育に影響を受けるような大きな被害園は殆どみられない状況となっています。県病虫害防除所の 9 月の発生予察情報では第 2 世代虫の発生圃場率は 21%（平年 21%）、雄繭寄生株率 10.1%（平年 16.0%）で、第 3 世代発生は「並」と予測しています。また、各産地の防除適期であるふ化最盛期は、第 2 世代ふ化最盛日からの有効積算温度による予測では、第 3 世代ふ化最盛日は昨年よりやや早く、平年並みと予測しています。（第 2→3 世代期間 57～58 日程度）また、本会の防除適期を予測する産卵・ふ化状況調査は、今年も発生が少なく、調査用寄生枝の採取が極めて困難な状況などのため、調査は出来ませんでした。このため前世代のふ化最盛期、前年の発生状況、これまでの発生傾向などを勘案して大まかに地域で予測しました。防除適期（ふ化最盛期）は、発生の極めて早い産地が 8 月 5～9 月 1 半旬、早い産地が 9 月 1～3 半旬、中間産地が 9 月 2～4 半旬、遅い産地が 9 月 3～5 半旬頃になりそうです。なお、この世代の発生は、これまでの防除の影響などでふ化最盛期がずれたり、ふ化時期の幅が広がったりしていますので注意しましょう。

☆ 防除対策

- ① 先ず発生状況を確認しましょう。芽伸びが悪いところ、新葉が黄化している株には発生している可能性があります。枝条に灰色で 2～3 mm の丸い介殻か、白い雄繭殻はないか確認します。発生がみられる場合は、丸い介殻の着いた枝条を数本採取し、経済連、JA または地域振興局農政普及課などで幼虫のふ化状況を調べて適期防除をしましょう。
- ② 薬剤防除適期は幼虫ふ化最盛期から 5 日後頃までです。また、発生園も外週部など局部的発生の場合は額縁防除法などで、防除コスト削減を図りましょう。
- ③ 枝条に薬液が良くかかるよう十分な散布量（1000L/10a）を散布します。乗用型防除機を使用する場合、専用ノズルを用い、低速で 1 畦ごとに防除します。

☆ 防除方法

地域の薬剤防除適期(ふ化最盛期～5日後)の目安

極めて早い地域・・・志布志市早場 鹿屋市早場 枕崎市早場・・・8月6～9月2半旬
 早い地域・・・枕崎市 南九州市早場 志布志市 鹿屋市 錦江町早場・・・9月1～3半旬
 中間地域・・・南九州市 南さつま市 日置市 鹿児島市 曾於市 錦江町・・・9月2～4半旬
 中間～やや遅い地域・・・南九州市北部 霧島市 曾於市北部 さつま町・・・9月3～5半旬
 遅い地域・・・霧島市遅場 湧水町・・・9月4～6半旬

耕種的防除法

畑かん地区での散水防除法は、産卵末期頃から幼虫ふ化定着期まで約2週間、日中のみ間断散水（10分散水、20分無散水）します。



散水防除法で死滅したクワシロカイガラムシ卵塊（宮崎茶業支場提供）

薬剤防除法

表1 クワシロカイガラムシ第3世代の薬剤防除法

防除時期	防除薬剤	希釈倍数(倍)	使用基準	注意事項
第3世代	アプロートエースフロアブル	1000	14日前 2回	スプライト®乳剤は前世代
幼虫ふ化最盛期	スプライト®乳剤 40	1000～1500	14日前 1回	の雄繭期防除を実施し
～5日後頃まで	ダース®乳剤 40	1000	14日前 2回	た園では使用できない。



クワシロカイガラムシ寄生状況



産卵・ふ化時期状態



幼虫定着期